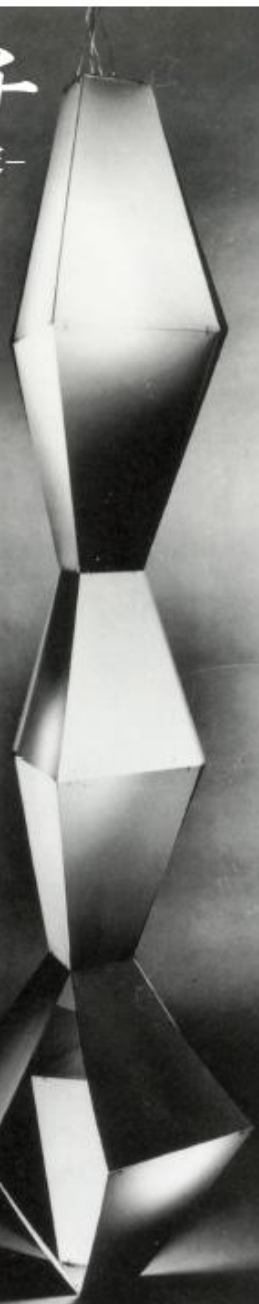


西南学院大学 国際文化学部・法学部共同院内 GP「ことばの力」養成講座
国際文化学部国際文化学科「文化のダイナミズム IVB 近代日本とキリスト教：西洋と東洋が出会うとき」公開特別講義

今日彼は、東洋と西洋、伝統と現代を昇華に融合した石の彫刻家として知られているが、また日本の石庭を現在に蘇らせた広場や公園などの公共空間の造形家としても重要な仕事を残している。

イサム・ノグチ

—異文化を造形した、21世紀の庭の芸術家—



ISAMU NOGUCHI, A Garden Artist of the 21st Century, Sculpting a Different Culture

■イサム・ノグチ (1904~1988) カリフォルニア州ロサンゼルス生まれのアメリカの彫刻家。父は詩人の野口米次郎 (1875~1947)、母はアメリカ人の作家レオニー・ギルモア。

講師：新見 隆 (Niimi Ryu) 氏

(武蔵野美術大学教授、イサム・ノグチ庭園美術館学芸顧問)

日時：2010年11月19日(金) 18:00~19:30

会場：西南学院大学 2号館3階304教室

地下鉄「西新」下車、福岡市早良区西新6-2-02

主催：西南学院大学 国際文化学部

お問い合わせ：gotou@seinan-gu.ac.jp (後藤)

●入場無料・事前申込不要 (一般のご来聴を歓迎します)

Noguchi with Column of Light, c.1950

■講師略歴：1958年広島県生まれ。慶應義塾大学文学部フランス文学科卒業。1982年から1999年2月まで、西武美術館・セゾン美術館の学芸員として展覧会の企画を担当。1999年より武蔵野美術大学芸術文化学科教授。フリーランス・キュレーター。ミュージアム&アート・コンサルタント。イサム・ノグチ庭園美術館学芸顧問。慶應義塾大学アート・センター訪問研究員。専門は近・現代デザイン史・美術史、現代芸術論、アート・マネージメント。美術・デザイン・建築の影響史、受容史、比較文化史、芸術社会学。